

つなごう!! 全国研

第57回*全国学童保育研究集会実行委員会 広報チーム発行

お申し込み締め切りまであと11日!



57 ENKOKUKEN

全国研特設HP



ロゴ決定!

8月末まで公募していた、全国研ロゴが決定しました!



ロゴの募集しめきりを8月いっぱいまで延期して、全国より応募のあった中からこちらのロゴが選ばれました! 地域での全国研のお知らせにもご活用ください。ご応募ありがとうございました♪

福島県福島市 指導員 山田和江さんが作成したロゴが採用されました! ご本人から採用の感想をいただきましたので紹介します。



今回、全国研のロゴマーク公募に案を出したところ、採用とのこと、ありがとうございました。4点応募したうちの一番自信のなかった作品でしたので、採用のご連絡をいただいたときには信じられない思いでしたが、大変光栄に思っております。ありがとうございました。

私自身、これまで何度も全国学童保育研究集会に参加させていただきました。全体会での特別報告をはじめてさせていただいた第47回全国研(2012年・埼玉)と、今回の第57回全国研は、私にとって忘れられない研究集会になりそうです。いろいろな経験をさせていただいたことに、感謝申し上げます。第57回全国学童保育研究集会が、実りある集会になりますことをお祈りいたしております。

※ロゴをクリック
しますと。画像を
保存できます。

現在の
申し込み人数は?

参加申し込みはお済みですか?

9月16日現在
総数666人

参加申し込み方法は、お住まいや在籍される学童保育により、申し込み先がわかります。

在籍・勤務・所属する学童保育が下記にある場合は、該当の連絡協議会へ、お問い合わせ(お申し込み)をしてください。

該当しない方は、

愛知学童保育連絡協議会

へWEBまたはFAXにてお申込みください。

愛知へのお申し込み
はこちら→

参加申込FAX
052-308-3324



京都府

宮城県

埼玉県

石川県

兵庫県

和歌山県

大分県

しめきり

2022年9月30日(金) \あと2週間を切っています/

●第57回全国学童保育研究集会についてのお問い合わせ先

TEL : 03-3813-0477

Email : d57zkk@xvg.biglobe.ne.jp

HP : <http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou/zenkokuken/d57/>

全国連協で全国研特設ホームページを開設しました! 参加のお申し込み・詳しい開催内容は、全国研特設HPのQRコードよりごらんください。

- ◆参加費の最終支払い期日:2022年10月7日(金)
最終支払い期日までにご入金いただけない場合はキャンセル扱いになります。
- ◆キャンセル料……2022年9月30日(金)までのお申し出については無料。振込手数料を差し引いた額を返金いたします。2022年10月1日(土)以降のキャンセルは返金できません。
- ◆オンデマンド配信による視聴のみを希望される方も参加申し込みが必要です(参加費・申込締切日共通)

- ◆1台のパソコン(またはタブレット、スマートフォン)で複数の方が参加することができます。ただし、参加費は1名につき4,000円、参加される方全員のお名前等をお知らせください。
- ◆1台のパソコンで複数の方が同時に、別々の分科会に参加することはできません。参加者それぞれが別の分科会に参加を希望される場合には、お一人ずつ、個人でお申し込みいただくか、希望分科会ごとにグループ分けするなどして、お申し込みください。

分科会紹介

広報チームニュースでは、分科会の紹介を掲載していきます。
分科会を決める際の参考にしてみてくださいね♪



第8分科会 終日

子どもの放課後を考える



世話人の柴田聡子さんより

「子ども期をいっぱい充実できるよう」

子どもは安心して豊かに育ちあえているのか？ 放課後の生活や施策への疑問は少なくないですね。2021年に開催された第56回全国研での同分科会で、助言者の増山均先生から、「放課後問題」を考える際のキーは、「放課後の子ども」から「地域の子ども、へ」の転換にあると提起を受けました。「放課後」は学校の延長、大人の管理下の概念がある、一方、子どもは「子どもの自由世界」を求めており、それは地域社会の一員と認められることで実現する……と。

その視点に立つことで、子ども理解や学童保育の役割、大人の関わりに展望をもつことができそうです。今回は、高学年や中・高生の子どもたちとの関わり、子ども理解を深めあう保護者会の意味についても交流します。

第1分科会[基礎講座] 午前

①学童保育ってなあに？—今日の子育てと学童保育の役割

学童保育は、「安心して働き続けたい」「子どもに安全で豊かな放課後を過ごさせたい」という保護者の切実な願いから生まれました。その願いを実現するために、保護者と指導員は手さぐりのなか実践を積み重ね、国に制度化を求め、またその制度をよりよいものにするために運動をつづけてきた歴史があります。今では「あってあたりまえ」のような存在になった学童保育ですが、まだまだその目的や役割が理解されていない実態もあります。

この分科会では、学童保育の歴史を知り、役割を確かめ、あらためて「どんな学童保育だったら子どもたちが安心して過ごせるのか」、みなさんといっしょに考え合いたいと思います。クラブの状況なども出しあえたらいいなと思っています。「やっぱり学童保育っていいよね〜」とみんなで思えるような分科会になりますように！ ぜひ、ご参加ください(^^)／

第12分科会① 終日

専任・常勤・複数体制の確立、労働条件の確立



世話人の亀井達也さんより

コロナ禍も相まって、全国的に「指導員不足」に拍車がかかる状況にあります。一方、指導員の処遇の改善の動きも出てきています。しかしながら、一部の自治体をのぞけば、処遇の改善がなかなか進まないのが現実です。

子どもの安全・安心を守るためには、指導員の安定した雇用が不可欠です。指導員が、入れ代わり立ち代わりで勤務していたり、日替わりの指導員体制であったりすると、子どもの日々の様子を情報共有することがむずかしくなります

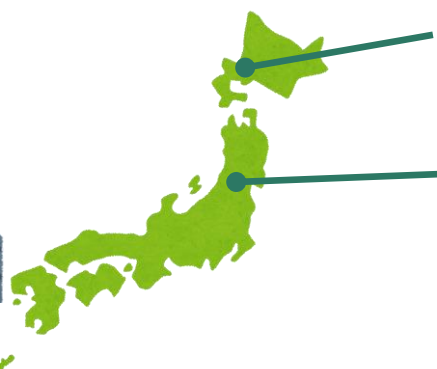
こうした状況を改善し、専任・常勤・複数体制と労働条件を確立することをめざして、各現場の状況を出しあいながら、指導員の心の余裕が子どもたちの心の安定に密接につながっていることを確かめあい、指導員体制を含めた処遇改善を進めて「指導員不足」の解消につなげていければと思います。そんな分科会をつくりあげていきましょう。



講師の重木奈穂美さんより

全体会 特別報告者の紹介

3名の方より特別報告をしていただきます。



★北海道 札幌市
佐藤敦子さん
学童クラブチャランケ 保護者

★山形県 山形市
山川美江子さん
学童保育うめばち子どもの家

★自然災害で被災した地域から